

2022年10月度 旅行業の倒産状況

2022年11月9日
プレスリリース

倒産概況

2022（令和4）年10月度 旅行業の倒産

（負債額1,000万円以上の企業倒産）

	倒産件数	負債総額
	0 件	0円
前年同月比	-	-
2021年10月	0 件	0円
前月比	-	-
2022年9月	0 件	0円

※TSRの倒産集計は、1952年の集計開始以来、法的倒産と私的倒産を含む

問合せ先：経済研究室
電 話：03(6910)3157

3カ月連続で発生ゼロ 一方、半数の事業者が「過剰債務」抱える

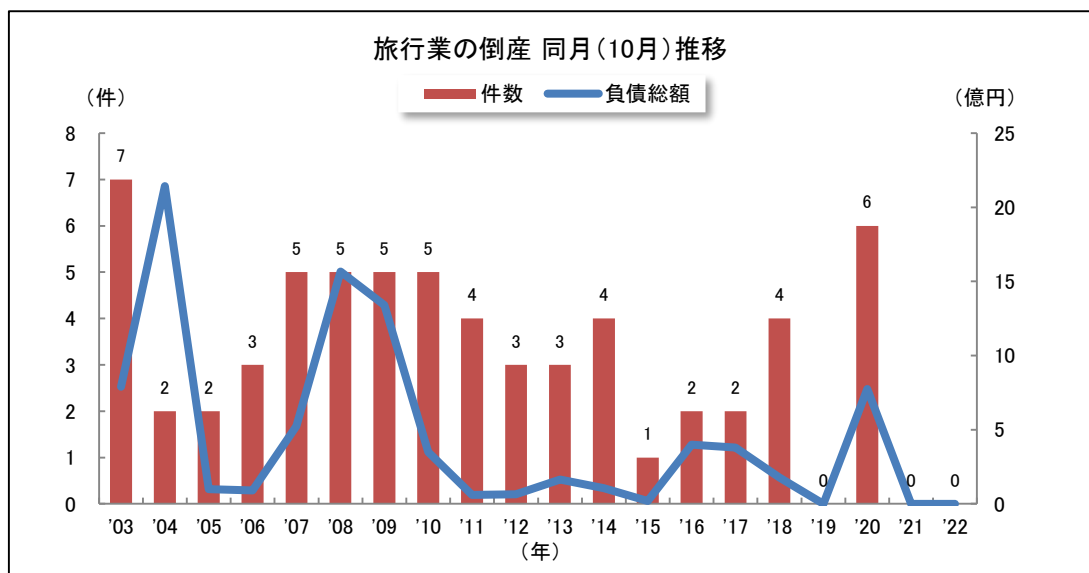
10月の旅行業の倒産は8月から3カ月連続で発生がなかった。1-10月までの倒産件数は14件で前年同期（25件）から11件（44.0%）減まで抑えられ、年間では2000年以降で最少を更新する見込みとなった。

10月中旬には、訪日観光客の新規入国に関する受け入れが緩和され、入国者数の制限は原則撤廃された。併せて、国内旅行に適用される「全国旅行支援」が開始されたことで、宿泊を伴う遠方への旅行に対する機運も高まっている。一方、東京商工リサーチによる10月の「過剰債務」に関するアンケートでは、旅行業を含む「その他の生活関連サービス業」の過剰債務率は55.5%と娯楽業や飲食店などに次いで5番目に高かった。さらに、長期化する円安が海外旅行の需要低下を招く恐れもあり、経営への影響が懸念される。

旅行業の倒産 月次推移

（負債総額単位：百万円）

年 月	2019(令和1)年		2020(令和2)年		2021(令和3)年		2022(令和4)年	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
1月	3	209	3	260	2	96	0	0
2月	3	182	4	136	4	104	4	134
3月	4	166	5	422	3	207	1	190
4月	1	100	1	178	3	1,017	0	0
5月	2	40	0	0	2	82	2	675
6月	1	35	2	27,845	4	244	4	161
7月	2	73	2	21	1	97	3	325
8月	1	200	1	250	4	774	0	0
9月	2	122	0	0	2	160	0	0
10月	0	0	6	775	0	0	0	0
11月	4	204	2	85	4	999		
12月	2	90	0	0	2	543		
年 計	25	1,421	26	29,972	31	4,323	14	1,485



旅行業の倒産 同月(10月)推移

年月	件数		負債総額		平均 負債額
	(件)	前年比	(百万円)	前年比	
2003年10月	7	40.00%	790	137.23%	112
2004年10月	2	▲71.42%	2,142	171.13%	1,071
2005年10月	2	0.00%	100	▲95.33%	50
2006年10月	3	50.00%	90	▲10.00%	30
2007年10月	5	66.66%	524	482.22%	104
2008年10月	5	0.00%	1,567	199.04%	313
2009年10月	5	0.00%	1,339	▲14.55%	267
2010年10月	5	0.00%	349	▲73.93%	69
2011年10月	4	▲20.00%	60	▲82.80%	15
2012年10月	3	▲25.00%	65	8.33%	21
2013年10月	3	0.00%	164	152.30%	54
2014年10月	4	33.33%	106	▲35.36%	26
2015年10月	1	▲75.00%	20	▲81.13%	20
2016年10月	2	100.00%	398	1890.00%	199
2017年10月	2	0.00%	380	▲4.52%	190
2018年10月	4	100.00%	177	▲53.42%	44
2019年10月	0	▲100.00%	0	▲100.00%	—
2020年10月	6	—	775	—	129
2021年10月	0	▲100.00%	0	▲100.00%	—
2022年10月	0	—	0	—	—